



— 笑顔あふれる明るい未来を目指します —

怱 心をつむぐ あしたを織る



↑ HP

2025 年夏号発行

編集発行：公益財団法人あすて 豊田市本町本竜 43 TEL (0565) 52-0362



丘KOBAPROJECT 1期目後半戦スタート!



「丘 KOBAPROJECT」は、2004 年からの「なぜ?なぜ?プロジェクト」2014 年からの「クルマづくり究めるプロジェクト」に続いて、豊田市との共同事業として 2024 年度から始まりました。自動車関連企業のプロとこどもが未来のモビリティを想像し、モビリティ製作に関連する知識・技能・技術を学びながら、夢をカタチにしていく事業です。



↑ 丘プロ HP

各社紹介

2 年で一区切りの「丘 KOBAPROJECT」は、2025 年度が後半戦になります！
試行錯誤の末に夢のモビリティが形になっていく姿を是非応援してください！

社名：ミニ化ー&エコ化工房 社
テーマ：近距離イージーモビリティ



社名：E-moco 社
テーマ：救急搬送モビリティ



社名：太陽精機 社
テーマ：ソーラーカー〔電動車〕



社名：PEFIC 社
テーマ：旧車とエコの融合モビリティ



★★ 2 期目 “未来のモビリティ” 社長募集中! ★★



新事業



カンボジアのこども達に自転車を



オモイをツナグ



ASIA CYCLE PROJECT

経済的理由から自転車を持てず通学に苦勞するカンボジアのこども達のために、2025年度より乗らなくなった自転車を一般から寄付していただき、それを丘プロマイスターが中心になって修理をし、届けようという活動を開始しました。この活動はみなさんの想いをつなげるべく、「アジア サイクル プロジェクト」と名づけられ、第 1 便は 12 月に 10 台を発送する予定です。

多くの方から乗らなくなった自転車
25 台をご寄付いただきました



丘プロマイスターが修理した自転車を
船便でカンボジアへ送ります



自転車は現地協力団体により必要と
しているこども達に届けられます





地球温暖化に 대응する土作り 実証実験中

枯竹×微生物＝豊竹 SOIL (農作に適した肥沃な土)

— CO₂固定、保水、水はけ、栄養、連作可能など植物の生育に理想的な土 —



竹林は、竹が道具の材料だった頃は近くに人が住みましたが、今では荒廃の一途をたどり厄介な存在となっています。しかし、伐採して燃やせば二酸化炭素を排出し、地球温暖化の原因になります。あすてでは、枯れた竹まで含めた 100%をチップにして手を加えることで、地球にやさしい資源として利用する方法を探ろうと、いろいろな機関と協力しながら実証実験をしています。

昨年 11 月からスタートしたこの活動は、①豊竹 SOIL 作り ②舗装 ③防草の 3 部門。今回は新年度から新たな動きのあった「豊竹 SOIL」についてレポートします。



▲昨年 11 月、竹 80 本分 2.4t チップ搬入。 ▲定期的な水やりと攪拌により 硬い竹も分解する微生物を噴霧



熟成促進



▼苗の生育比較

容器：竹製プランター2 基
苗：トマト、キュウリ、オクラ
手順：各々一般土を土台にして表面 15 cm に①豊竹 SOIL ②畑土を敷き詰め、苗を定植(5/9)



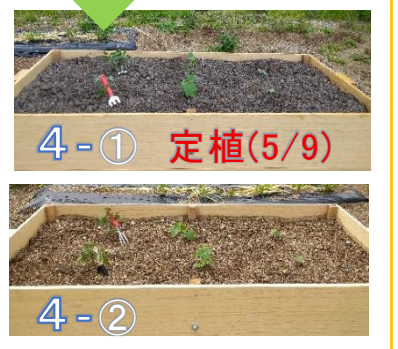
▲豊竹 SOIL のプランター

▲畑土のプランター

豊竹 SOIL 区は初期から生長がよく、各作物とも濃い緑色を呈し、畑土区と比べると大きく差が出た。豊竹 SOIL には肥料は全く入っていないが、有機物が分解して窒素成分などが溶出するようで、それが生長に影響したようだ。

1ヶ月後
(6/9)

定期計測：
地表温度
地中温度
含水率、PH
苗の丈
茎径、葉長



▲実験用苗(トマト、キュウリ、オクラ)
①豊竹 SOIL ②畑土で生育比較

出場者
募集！
べ切 7 月 31 日

AKIKAN CUP 2025



参加費
無料！
製作費自己負担

シニアロボットコンテスト (60 歳以上)

培ってきた技能・技術を活かしてみませんか？

2025年 11 月 15 日(土) 10:00～13:00

●出場ルール・申込み：あすてホームページより

●問合せ：担当・嵩下 (だけした) ☎0565-52-0362 または
✉astesun@aste-toyota.com

Check!



あすて HP



PR 動画



2025 年秋号 vol.187

— 笑顔あふれる明るい未来を目指します —

怱 心をつむぐ あしたを織る



↑ HP

編集発行：公益財団法人あすて 豊田市本町本竜 43 TEL (0565) 52-0362



—— 旧本館跡地にできた Collina Naturale(自然の丘)での活動をご紹介します ——

- ✿ 読み聞かせ
- ✿ 手遊び
- ✿ わらべ歌

ピッコロ



くすの木の木陰でおはなし会 年 6 回 第 2 日曜 10 時～10 時半



Collina Naturale (自然の丘) のすばらしいロケーションを生かして、季節の良い月 (3, 4, 5, 6, 10, 11 月) の第 2 日曜日の朝に大きくくすの木の木陰でおはなし会を開催しているピッコロ。眼下に広がる田んぼの中を頻繁に行き来する名鉄三河線の赤い電車は、子ども達に大人気！悪天候で中止になることもありますが、この日を楽しみにしている親子が何人かいます。この他、児童養護施設や学童保育にも出かけていきます。メンバーは 6 名。毎回、対象に合わせた絵本選びやプログラム作り、練習を入念に行っています。



レインボー
ガーデン

毎月第 1, 3 月曜 10 時～12 時

✿ Collina Naturale 花壇



Collina Naturale に花を植えて利用者に楽しんでもらおうと活動するのはレインボーガーデンのみなさん。70～80 代の花好きメンバー 6 名が、元気に花が咲いた時を想像しながら、芝桜、ひまわり、松葉ボタン、スイートピー、コスモス、スノーボール、かすみ草などの世話をしています。自宅で種から苗を育てて提供したり、季節の植え替え、水やり、除草と活動中です。花好きな方、一緒にボランティアをしませんか？



Hatake

随時活動
◆ 農園



あすての畑で野菜を作り、それを販売した収益金を次の苗代や肥料代にしたり社会貢献のために寄付をするという自立した活動をしています。



↑ みんなで水まき。子ども達も休みの日にお手伝いしてくれます

華咲く丘

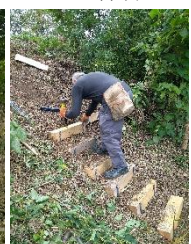
随時活動
✿ 自然観察路



高台に建つあすてからの良い眺めを生かそうと、敷地の外周に自然観察路を整備中。本業は山仕事というボランティアが中心となって作業を進めています。



観察路の草刈り



ボランティアが手作りした階段 ↑





プロの技🔧活かして社会貢献！

あすてでは、丘プロマイスター（丘 KOBА プロジェクトのマイスターの略、トヨタグループ及び関連会社ベテラン技能士グループ）がプロの技能を活かした社会貢献活動を行っています。



カンボジアの子ども達に自転車を



オモイ
をつなぐ



ASIACYCLE PROJECT

修理完了 15 台が 12 月現地へ初船出



このプロジェクトは、経済的理由から自転車を持てず、通学に苦労しているカンボジアの子ども達に修理済中古自転車を贈ろうというもの。しくみは、①思い出のいっばいつまった自転車をあすてに寄付していただき、それを②丘プロマイスターが心を込めて修理をし、③カンボジアの子ども達に届けてそれぞれの想いをつなげようというもの（左図）。これは、蒲郡市に拠点を置き、国内外で生活・教育・技術支援を目指す NPO オアシスと協力して行うものです。今年 12 月に、修理の完了した 15 台の自転車が、初めてカンボジアへ送られます。



小中学生に工具の使い方「未来学校」

～～好評につきクラス増 10 月からスタート 全 6 回～～



削る・締める/緩める・はかる・切る・曲げる・塗る

昨年度から始まった「未来学校」は、小中学生に現場のプロが高い技能・技術と豊富な知恵や経験を伝授することで、ものづくりに興味を持ってもらおうという目的です。昨年度、「工具の使い方」をテーマに開催したものが好評だったのを受け、今年度は小学 3 年～小学 5 年を対象に午前、小学 6 年～中学 3 年を対象に午後、の 2 クラス編成で開講しています。10 月から各回の課題に沿って毎月第 2 土曜日に行われています。

10/15 削る

講師は金属加工のプロ・大橋さん（アイシン）。初回のこの日は工具全般の基礎知識から始まり、金属表面の削り方の講義を受けた後、金属やすりと紙やすりを使って実際に削る作業に挑戦しました。



11/8 締める・緩める

講師は主に部品組み立てや測定のプロ・住田さん（アイシン）。受講生はドライバー（プラス・マイナス）、スパナ、六角棒レンチの使い方を丘プロマイスターとマン・ツー・マンで学びました。





あすて×森のプレゼント×団体 福祉施設や子ども施設に 間伐材ベンチ・積み木を寄贈



↑ 森のプレゼント(森プレ)製作の様子



↑ 贈呈式



↑ 完成品を寄贈先へ届けます

あすてと間伐材有効活用グループ・森のプレゼントは、団体からの寄付金を元にベンチや遊具などを作成し、必要としている施設に寄贈しています。



各施設に贈られたベンチや遊具は有効に使われています(右表)



【2025 年 11 月までの寄贈状況】

●大人用ベンチ○子ども用ベンチ■積木□コロコロ積木

★(株) 豊田自動織機・総務部社会貢献グループ★	
寄贈先	内容/個数
安城市内公立・私立のこども園・保育園 14 園	○24
★アイシン労働組合★	
碧南市社会福祉協議会	○ 1
こどもプラザこころつくしんかわ	□ 2
もやいっこ食堂	■ 10
刈谷市平成幼稚園	■ 10 □ 2
社会福祉法人ゆめネット	● 1
特別養護老人ホーム鎌倉街道東山	● 1
社会福祉法人ポテト福祉会	● 1
安城市養護老人ホーム	● 2

からくり・生活創意工夫展(刈谷市)で作品出展



小中学生に科学、理科への関心を高めてもらおうと毎年刈谷市が開催している「生活創意工夫展」が 10 月 11、12 日に開かれ、あすてグループ・からくりが 15 作品をアイシンブースにて出展しました。来場者は延べ 2,000 人。多くの親子が、からくりのしくみを楽しむ様子が伺えました。

からくり・生活創意工夫展(刈谷市)で作品出展

海外支援のための衣料回収に協力

貧困や紛争で困難に直面する人々に衣料支援を！とのトヨタ紡織(株)総務部の呼びかけで、あすてで衣料品回収を行いました。集まった衣料は NPO 日本救援衣料センターを通して海外へ送られます。



トヨタ技術会企画「みんなで夢のまち作ろう！ブロックハウスのジオラマ」あすてにて展示中

トヨタ技術会は、技術力向上や社会貢献を目的として 1947 年に発足し、2025 年は 100 名余のメンバーにより一年間様々なテーマでものづくりにチャレンジしています。



展示中の「夢のまちジオラマ」の家は全部で 540 軒。これは市内図書館、博物館、T-FACE、鞍ヶ池公園などで 15 回のワークショップを重ね、子ども達に 13 cm 四方の土台の上に夢の家を思い思いに作ってもらい、みんなで夢のまちジオラマを作ろう！というもの。最後に豊田市との共催事業「わくわくワールド」(10/19)で作られた作品を加えて完成しました。

このジオラマは、年内あすてに展示される予定です。一つ一つの作品に込められた子ども達の想いを感じてみてください。





60 歳以上によるシニアロボコン
電動モーターの自作ロボットで対戦！



AKIKAN CUP 2025

昨年より難易度アップ、8 名が激戦！

今年で第 2 回となるシニアロボコンが 11 月 15 日(土)に開催され、8 名（60～81 歳）が熱い戦いを繰り広げました。対戦内容は、電動モーターによる自作ロボットで規定時間内に空き缶（100～500 ml）数種類を分別し得点を競うもの。ただし、1 種類だけ秘密の分別品があり、大きさ、形、材質は競技寸前まで明かされません。競技者は何が出てきても良いように作戦を立てながらロボットを製作し、練習に励みました。



↑ 競技内容事前説明会 ↑ 事前練習を重ねて微調整や改善を図る



ひとことインタビュー



ラジコン好きの少年が、
“好き”を仕事にできた喜び
優勝 おきだて こうじ 沖館 康二さん

優勝して素直にうれしいです。

中学生の頃からラジコンを自作していて、会社に入ってから毎日仲間と公園のサーキット場でラジコンレースをしていました。トヨタ技術会（TES）のアイデア・オリンピック（現 TES フェス）にも毎年出場していましたが、今年は抽選にもれたので当ロボコンに応募しました。コンテストに出場する意味は、技術の向上、ライバルや仲間との競い合いや切磋琢磨が楽しいからです。現在の仕事も改善や発明と関係があり、2023 年にシールテープの自動巻きを発明して文部科学大臣賞を受賞することができました。自分にあった仕事に就けて本当に幸せです。今後も優勝を死守するべく、がんばります。さあ！どこからでもかかってきてください！



沖館さんロボット



規定計測：↑ 重さ～5Kg ↑ 縦・横・高～40cm ↑ 秘密の分別品の発表



総当たり戦＋決勝トーナメント戦



2025 あすての日

“つくる” ことによる社会貢献の実例とこれから

と き：2025 年 12 月 13 日(土) 10:00～11:30

ところ：あすて コスモスホール

内 容：「丘 KOBAYASHI プロジェクト」4 つの実例発表
& 来年度登録手順の説明

対 象：活動に興味のある方どなたでも

その他：来年度登録を予定しているグループは参加必須

申込み/問合せ：公益財団法人あすて



※申込はこちらから↓





ものづくり

プロの技🔧活かして社会貢献！

あすてでは、丘プロマイスター（丘 KOBA プロジェクトのマイスターの略、トヨタグループ及び関連会社ベテラン技能・技術者）がプロの技能を活かした社会貢献活動を行っています。



カンボジアの子ども達に自転車を

ASIACYCLE PROJECT



完成車 15 台 現地へ輸送

～贈呈式で歓喜の声！～

経済的理由で自転車を持てず通学に苦勞するカンボジアの生徒たちのために、日本で使わなくなった中古自転車をマイスターが修理してカンボジアへ送ろう！という事業が今年度から始まり、このほど 15 台の修理が完了し、プノンペン市街に位置するチュンカエプ中学校にて理事長出席のもと、2 月 17 日に贈呈式が行われました。新品同様ピカピカに修理された自転車に驚きと感謝の声が上がっていました。

寄贈先については、学校関係者と教育長が責任を持って適切な方法を検討中。必要とする生徒のいる地区に貸し出し、共用で使用方法などを考えているということです。



中古自転車約 47 台があすてに寄贈 ↑



丘プロマイスターが丁寧に修理 ↑



15 台の修理が完了 ↑



コンテナに積み込み船便で送る(12/19) ↑



贈呈式で豊田理事長挨拶 ↑



海外教育支援 NPO 法人オアシスと協力してカンボジアへ届けました ↑



チュンカエプ校生徒と理事長(中央) ↑



“経験なし”からの自転車修理

この事業に関わったマイスターは 6 社の 26 名。隔週土曜日に 7～8 名で修理活動をしてきました。しかし、車作りは専門でも自転車修理は全く経験なし。構造や仕組みなど、一から調べながら試行錯誤の連続でした。唯一の救いは、メンバーの一人の趣味がロードバイクであったこと。メンテナンスのために自転車をよく分解していた経験が、このプロジェクトに活かされました。

2026年度

はじめの会

4 月 4 日(土) 10:00～

場所:コスモスホール

内容:新年度方針、ボランティア個人登録 等

対照:2026 年度あすてで活動する方

設立記念日(12/11)を覚えて、あすでの意義を確認する日

あすでの日



—「つくる」ことにより笑顔あふれる社会を築く—



2026 年 12 月に 60 周年を迎えるにあたり、「あすでの日」(12/13) に全グループが集い、ボランティアの原点である「つくる」ことで貢献していこうと、事例を聞いて各々がこれからの活動を考えました。

事例紹介の「丘 KOBА プロジェクト」は、各プロジェクトを会社組織に見立てて、現場の技能技術者と次代を担う中高生が共にものづくりに取り組むことで、ものづくりの心と技を伝承しようというものです。理事長挨拶のあとに以下 4 社の発表があり、各グループが自分たちの「つくる」を考えました。

豊田理事長：あすでは、設立以来、手でボランティアすることを原則としてきました。ものをつくることはもちろん、例えば掃除、草取り、食事作り、縫物、修理、音楽を奏でること、人をいやすことなど手を使ってさまざまな活動があり、現在も続いています。手は心からの発信であり、心の動きによって手は動くわけですから、ボランティアの原点です。

また、あすでは 100 社近い企業から賛助を受けています。貴重な財源を大切に使うために、ぜひ「工夫」をしていただきたいと思います。どうすれば課題を乗り越えて前へ進めるか、他に方法がないのかを考えてみましょう。また「SDGs」の 17 項目は私たちの活動の指針になります。来年度から 5 年間の中期目標は「笑顔の松明を広く遠く高く」。社会を明るく照らすためにあすでと共に歩んで参りましょう。

【事例発表：丘 KOBА プロジェクト 4 社】

① ミニ化-&エコ化工房社「近距離イージモビリティ」:

高齢者支援を念頭に簡単に手に入るガスボンベを使ったコンパクトカーづくりを目指す。



②太陽精機社「ソーラーカー(電動車)」:ものづくりの基本を学ぶためにソーラーパネルを使って 10 分走る車をつくって競争してみる。



③E-moco 社「救急搬送モビリティ」:救護者を揺らさないで運ぶ救急車。



④PEFIC 社「旧車とエコの融合モビリティ」:旧車は構造がシンプルで運転手の思いのままに運転可能。エコ車は静か。両者の良さを持つ車づくり。



加藤プロジェクトリーダーコメント：会社組織にしているのは、各自が役割を明確に認識して全体に貢献するよう意識するため。学校のように教えず、自らの手を汚し、たくさん失敗しながら自分で考えられる人材の育成を目指しています。4 月から次のプロジェクトが 2 年周期で始まります。ぜひ応援してください。

ボランティアグループ「KANADE」 からくりオルゴールを豊田市に寄贈 (3/5)



今年度のグループの活動目標は「からくりじかけの手回しオルゴールを作成し、みんなに演奏を楽しんでもらえるように豊田市に寄贈する」こととしました。曲は「豊田市民の誓いのうた」に決定し、オルゴールの仕組みや材料の選択、音程、デザインなど様々な課題をメンバーで研究し、試行錯誤の末にやっと 3 月に完成させました。寄贈式には太田市長にもご出席いただき、実際にハンドルを回して演奏を体験していただきました。

このからくりオルゴールは、豊田市役所東庁舎 2 階の市民ロビーに常設され、誰でも体験できるようになりました。ぜひ一度、オルゴールを奏でてみてください。



太田市長(右)に説明をするメンバー
(手前左端から3名)



からくりオルゴール ↑
台車やトールペイントもボランティアの製作

ものづくりボランティアグループ活動



●【からくり】御作小学校へ出前授業（11/26, 27）

藤岡地区・御作小学校 5, 6 年生
9 名を対象に「糸ノコを使って作るクラックからくり」の授業を 2 日間にわたって開催。



●【ロボットと友達になろう】ロボットへの興味を育む教室開催（12/20）

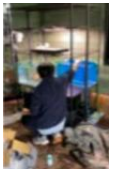
ものづくり創造拠点 SENTAN
にて小学生 12 名にロボット
の基礎を学ぶ教室を開催。



●【森のプレゼント】間伐材を有効活用したベンチを
こども園に寄贈（1/30）豊田西ロー
タリークラブからの寄付金を元に
間伐材を利用してベンチを作成し、
市内の大林こども園と藤藪こども
園にそれぞれ 2 脚ずつ寄贈。



●【Re:made】アクアポニックス実験中
魚と野菜を同時に育てる循環型農業を目指
してあすてにて試行錯誤中。会社員のメン
バー 2 人は活動と家庭を両立するために子
どもが眠りについてから作業する日々。



第 2 回 ものづくりリンピック



— ものづくりの楽しさを感じよう！ —

3 月 20 日（金・祝）、あすてものづくりボランティ
アグループをはじめ、企業の協力も得て、11 ブース
が出展し 350 名が来場。企業からは「水素で走るミニ
四駆作り&試走」「ベーゴマ作り&対戦」。ボランティ
アはブロック作品作り、からくりおもちゃやミサンガ
作り、手回しオルガン試奏等を出展。キッチンカーも
数店あり、多くの親子が一日ゆっくり楽しみました。



枯竹にたましいを(あすてボランティアグループ) × (株)FTS



賛助企業の一つ、株 FTS は現在、
竹の有効利用を目指すボランティ
アグループ「枯竹にたましいを」と
共同でグレーチング（側溝のふた）の新素材のテス
トをあすてで行っています。材料を燃料タンク製造
時の廃プラスチックと竹の混合物にすることで、低
コスト、軽量化、施工性の向上をねらっています。



↑新素材のグレーチングは文字や QR コードなど
自在にプリントすることができる

チャリティーの収益金を社会貢献団体へ寄付（2025.4~2026.3）



あすてには 36 の多様なボランティアグループがあり
社会貢献団体に寄付をする目的で手作り品などをバ
ザーで販売したり、演奏活動を行っているグループ
がいくつかあります。寄付方法は、各グループが直
接団体へ寄付する方法とあすてボランティアで集約
して各団体へ寄付する方法（下表）とがあります。



【あすてボランティアで集約したグループ】

GG33・チェロを楽しむ会・あすてらんち・しんあい・
COOKPI MAMAS・百花の会・花水木・火俱野姫・ミニ
バザー・ほんわかマルシェ

【寄付先】 ハイチの会、愛知いのちの電話協会、
NHK 海外たすけあい、国連 UNHCR 協会、
オイスカ、アジア保健研修所 計 350,000 円



「未来学校」小中学生にもものづくり基礎を伝授



削る・締める/緩める・はかる・叩く/塗る・切る/曲げる

昨年度から始まった「未来学校」は、現場のプロである丘プロマイスターが小中学生に高い技能・技術と豊富な知恵や経験を伝えることで、ものづくりに興味を持ってもらおうと開講したものです。ものづくりへの入口としてまずは「工具の使い方」をテーマに、10月から半年間かけて6回で学びました。

毎月第2土曜日、午前は小学3年～5年、午後は小学6年～中学3年を対象とする2クラス編成。最終回の3月は集大成として「エンジンの部品と組み立て」に取り組み、午前と午後のクラスを併せて16名が講座を修了しました。この講座は、2026年度も引き続き開催を予定しています。ご期待ください。



ものづくりに必要ないろいろな課題に取り組む ↑



丘プロマイスターとマンツーマンで実践に取り組む参加者 ↑

参加
募集

あすて×豊田市次世代産業課 共催事業 ものづくり道場 開講



あすてと豊田市 産業部 次世代産業課の共催事業として、5月よりものづくり道場を開講します。ものづくり道場は、技能を身に付けたい人、設備を安全に使いたい人、生徒を指導する教職員など、技能を必要としている人が学べる場を提供したいという思いから、企画し立ち上げました。

従業員の技能習得・向上や新人教育、配置転換時の教育の補填、また、生徒指導のためのカリキュラム相談などの機会としてぜひご活用ください。

- ・講 座：普通旋盤（初級、中級）、普通フライス盤（初級、中級）
初級「設備を安全に使用するために」 中級「技能検定3級で使う加工技能」
- ・期 間：初級 4h×3日、中級 4h×5日 ※原則全日程参加可能な方
- ・会 場：あすて金 KOBa、ものづくり創造拠点 SENTAN ものづくりスペース ※日程により異なります
- ・対 象：中小企業の従業員、教職員
- ・参加費：無料
- ・持ち物：安全保護具（安全靴、保護メガネ、帽子）
- ・申込み：あすてホームページより（4月中旬ごろ申込フォームを掲載予定）

経験豊富な講師陣



横井さん(あすて)
機械加工、機械検査



西尾さん(SENTAN)
機械加工、機械製図



杉山さん(SENTAN)
電気組立



嵩下さん(あすて)
電気制御、設備保全



谷口さん(SENTAN)
研削加工



福田さん(SENTAN)
機械加工

あすての施設と設備



金 KOBa



普通旋盤



普通フライス盤



ボール盤

ものづくり創造拠点 SENTAN の施設と設備



SENTAN



普通旋盤



CNC 旋盤



NC フライス盤